

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(30歳代男性)ありました。症状はありません。感染地域・感染経路は共に不明です。本年の累積報告数は2例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- レジオネラ症の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は発熱、咳嗽、下痢、肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代女性1例)あり、症状は肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は11例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(70歳代男性及び60歳代女性)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は24例となりました。
- 百日咳の報告が1例(10歳未満男性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は18例となりました。

◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

本市の咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.33(14例)と少ないですが、前週0.26(11例)から連続して過去5年平均値を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 4例(肺結核 1例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 65例(肺結核 22例, その他結核 16例, 潜在性結核感染者 27例)うち喀痰塗抹陽性 13例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数2例】
- 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 11例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 24例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 18例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.78	123
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.09	305
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	47
	③ 伝染性紅斑	0.67	29
	④ 突発性発しん	0.42	18
	⑤ 水痘	0.35	15
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

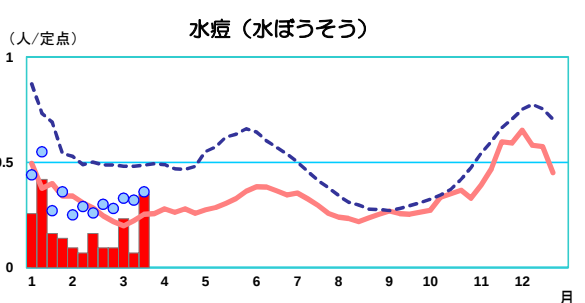
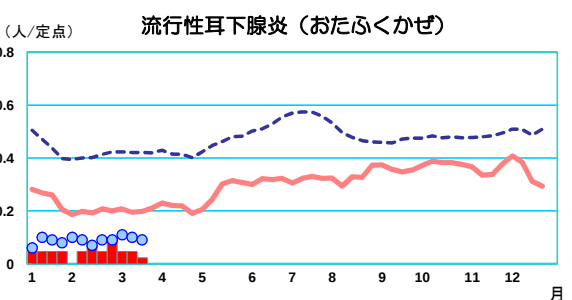
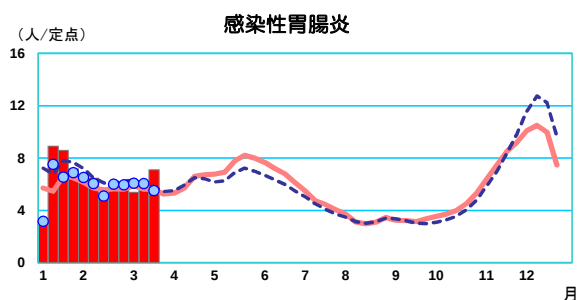
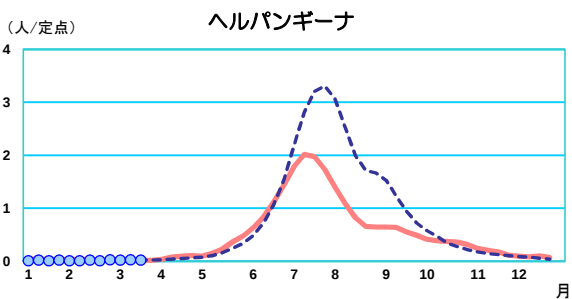
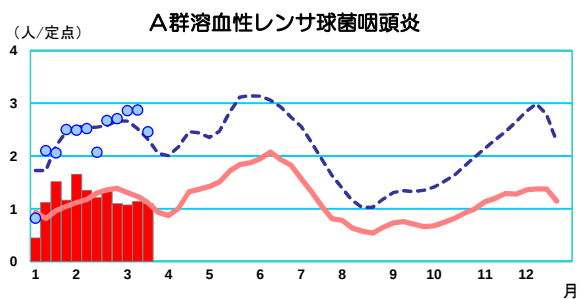
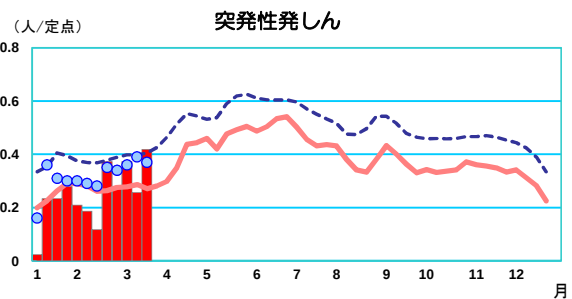
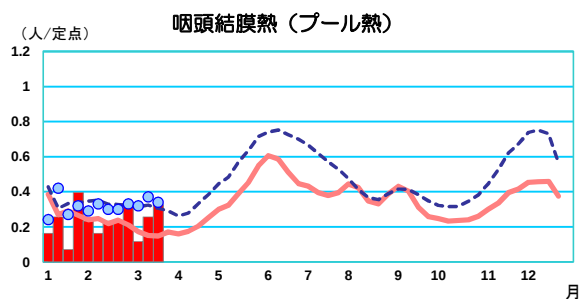
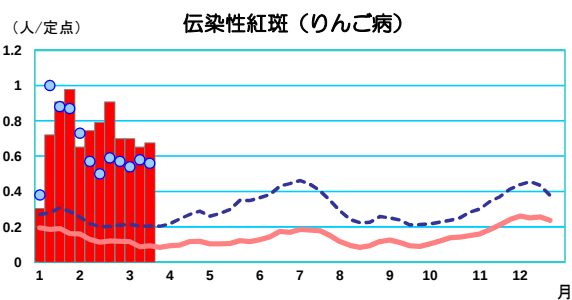
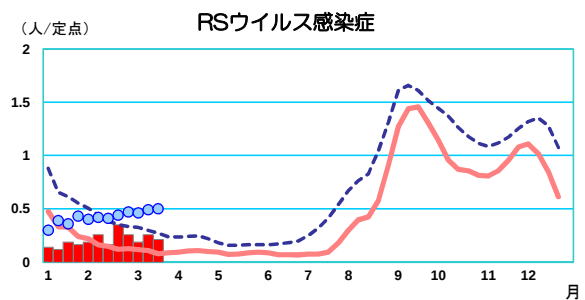
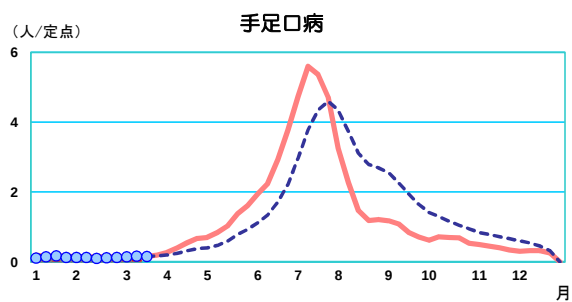
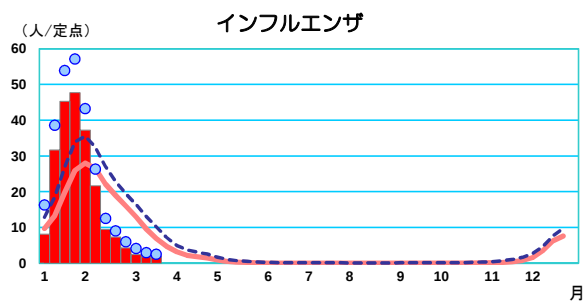
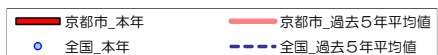
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年3月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第12週(3月18日～3月24日)トピックス:＜咽頭結膜熱＞

発生動向

本市の咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.33(14例)と少ないですが、前週0.26(11例)から連続して過去5年平均値を上回っています(図1)。本疾患は「プール熱」とも呼ばれるように、通常6月頃から増加し始め、7～8月にピークを迎えるとされていますが、本市の過去5年の推移をみると、年によって変動はあるものの、3～4月から6月にかけて増加する年が複数あり(図2)、今後の発生動向に注意が必要です。本疾患は小児の急性ウイルス性感染症として知られており、本市の過去5年間の年齢階級別割合では、いずれも小学校就学前の乳幼児が全報告数の80%前後を占め、今年も同様の傾向を示しています(図3)。

症状

潜伏期間は5～7日間で、発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全体倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血、眼痛等が3～5日間続きます。特に治療方法はなく、対症療法となります。

予防

本疾患の原因となるアデノウイルスは感染力が非常に強いので、エタノール消毒剤の消毒効果は弱いと言われています。主な感染経路は手指を介した接触感染と患者の飛沫による感染なので、タオルの共用は避け、流水と石けんによる手洗いが重要です。また、未就学児の感染が多数を占めることから、流行期には保育所、幼稚園等で集団発生する可能性があります。京都市では、これらの施設の管理者等に向けた、施設における感染リスクと対策に関する基本的な知識や押さえるべきポイントをまとめた冊子を発行していますので、以下のURLを御参照ください。

○京都市情報館「子ども達を感染症から守るために-子どもが集団生活をする施設の管理者・職員の方へ-」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000048264.html>

図1 本市の定点当たり報告数の推移

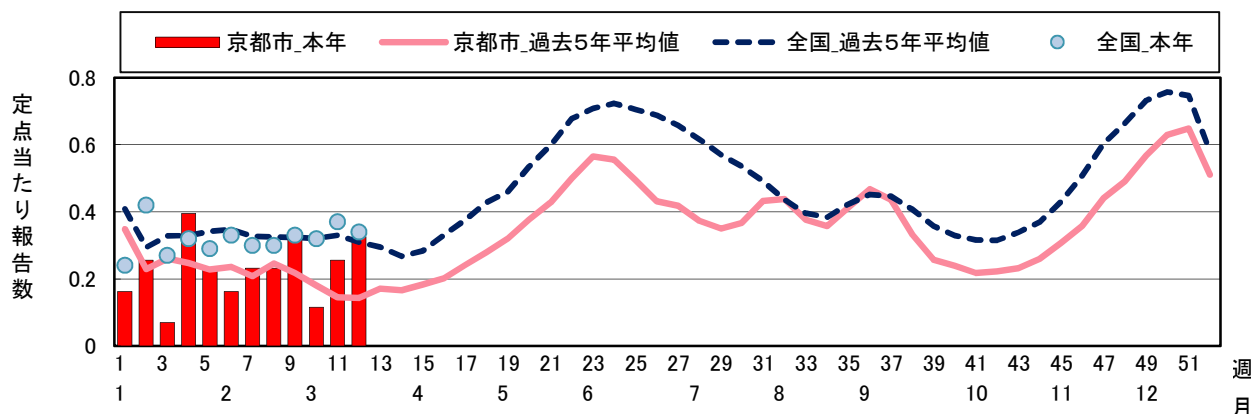


図2 本市の過去5年間の報告数の推移

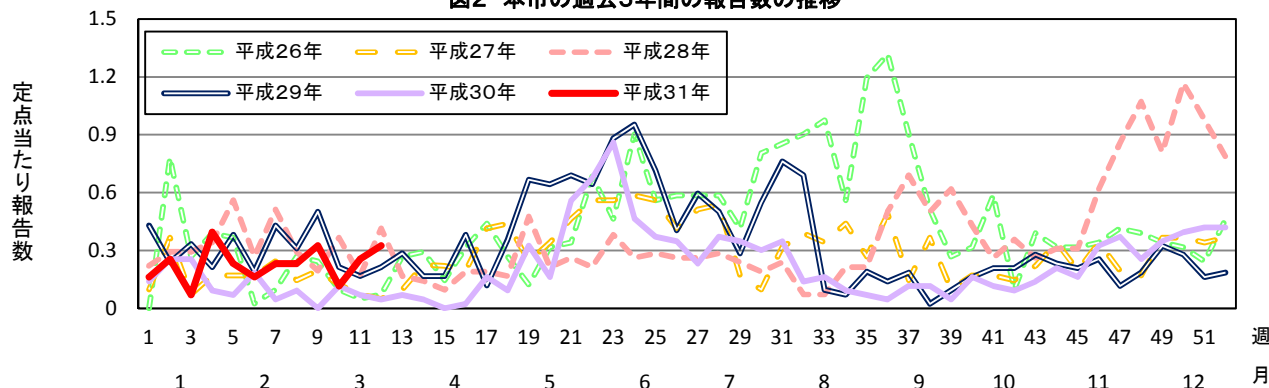
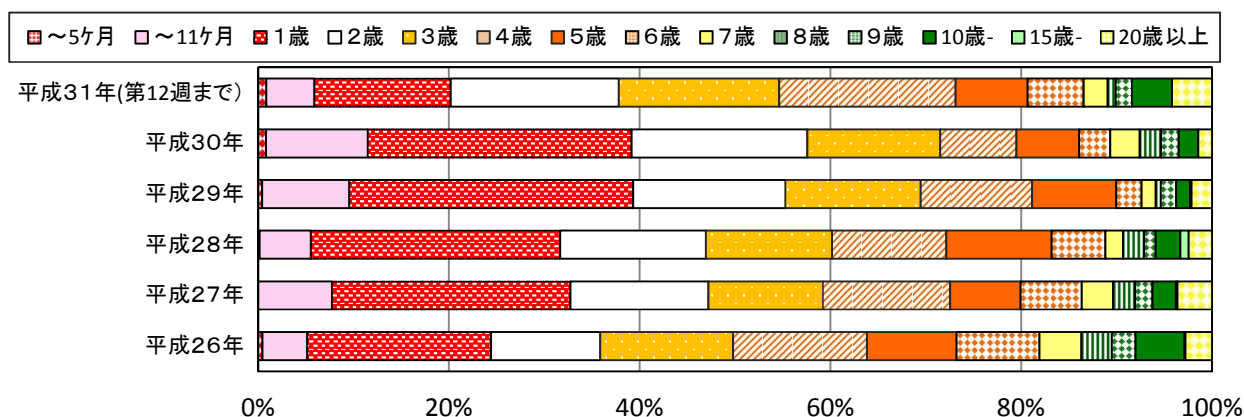


図3 本市の年齢階級別割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第12週

疾病,行政区別報告数

2019年3月18日～2019年3月24日

データ入手日:2019年3月27日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	11	-	-	9	8	3	-	2	-	-	-	-	-					
左京	10	-	1	3	19	-	-	2	2	-	-	-	-					
中京	8	1	-	9	8	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3	1	-	2	14	-	-	-	-	-	-							
山科	22	2	-	-	5	1	-	4	3	-	-	-	-					
下京	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-							
南	17	-	-	5	18	1	-	-	-	-	-							
右京	14	3	5	13	70	2	-	10	6	-	-	-	-					
伏見	20	2	4	4	119	1	-	2	4	-	1	-	-					
西京	8	-	4	2	40	5	-	7	2	-	-	-	-					
京都市計	123	9	14	47	305	15	-	29	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	0.57	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	2.20	-	-	3.00	2.67	1.00	-	0.67	-	-	-	-	-					
左京	1.43	-	0.25	0.75	4.75	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-					
中京	1.60	0.33	-	3.00	2.67	0.67	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.00	0.50	-	1.00	7.00	-	-	-	-	-	-							
山科	3.14	0.40	-	-	1.00	0.20	-	0.80	0.60	-	-	-	-					
下京	2.00	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-							
南	3.40	-	-	1.67	6.00	0.33	-	-	-	-	-							
右京	1.75	0.60	1.00	2.60	14.00	0.40	-	2.00	1.20	-	-	-	-					
伏見	1.82	0.29	0.57	0.57	17.00	0.14	-	0.29	0.57	-	0.14	-	-					
西京	1.00	-	0.80	0.40	8.00	1.00	-	1.40	0.40	-	-	-	-					
京都市計	1.78	0.21	0.33	1.09	7.09	0.35	-	0.67	0.42	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第12週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年3月18日～2019年3月24日

データ入手日:2019年3月27日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	123	-	2	4	4	8	3	4	3	14	8	4	22	11	9	8	7	6	4	1	1
インフルエンザ (※1)	年齢3	9	3	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		14	-	-	2	4	3	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		47	-	-	-	2	5	11	6	3	2	7	1	4	-	6	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		305	2	16	48	45	28	32	24	31	18	13	4	19	4	21	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		15	-	-	-	2	1	-	3	1	-	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		29	-	1	1	2	7	5	2	5	2	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		18	-	7	7	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳-	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	1.78	-	0.03	0.06	0.06	0.12	0.04	0.06	0.04	0.20	0.12	0.06	0.32	0.16	0.13	0.12	0.10	0.09	0.06	0.01	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.21	0.07	0.02	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.33	-	-	0.05	0.09	0.07	0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.09	-	-	-	0.05	0.12	0.26	0.14	0.07	0.05	0.16	0.02	0.09	-	0.14						
感染性胃腸炎		7.09	0.05	0.37	1.12	1.05	0.65	0.74	0.56	0.72	0.42	0.30	0.09	0.44	0.09	0.49						
水痘		0.35	-	-	-	0.05	0.02	-	0.07	0.02	-	0.09	0.02	0.07	-	-						
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		0.67	-	0.02	0.02	0.05	0.16	0.12	0.05	0.12	0.05	0.02	-	0.07	-	-						
突発性発しん		0.42	-	0.16	0.16	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第12週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年3月27日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	652	500	293	160	122	123
RSウイルス感染症	7	15	11	8	11	9
咽頭結膜熱	10	10	14	5	11	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	57	47	46	49	47
感染性胃腸炎	213	259	249	232	238	305
水痘	7	4	4	10	3	15
手足口病	3	3	5	3	5	-
伝染性紅斑	34	39	30	30	28	29
突発性発しん	5	16	12	16	11	18
ヘルパンギーナ	-	-	1	3	1	-
流行性耳下腺炎	3	2	4	2	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	1	2	1	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	989	906	672	516	481	561

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	9.45	7.25	4.25	2.32	1.77	1.78
RSウイルス感染症	0.16	0.35	0.26	0.19	0.26	0.21
咽頭結膜熱	0.23	0.23	0.33	0.12	0.26	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.21	1.33	1.09	1.07	1.14	1.09
感染性胃腸炎	4.95	6.02	5.79	5.40	5.53	7.09
水痘	0.16	0.09	0.09	0.23	0.07	0.35
手足口病	0.07	0.07	0.12	0.07	0.12	-
伝染性紅斑	0.79	0.91	0.70	0.70	0.65	0.67
突発性発しん	0.12	0.37	0.28	0.37	0.26	0.42
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	0.07	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.07	0.05	0.09	0.05	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.10	0.20	0.10	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	17.52	16.76	13.21	10.67	10.12	11.97

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。